

カートン裏面表記「富士山の雪解け水使用」のご案内

カートン裏面表記について

弊社で製造しているティッシュペーパーは自社工場で原紙を抄造・加工しています。紙の抄造工程において最も大切な水をたくさん使用しますが、弊社では自社工場内にて地下230mを流れる富士山の湧水を、地下26mに設置したポンプにより汲み上げ、この水を使用する事によりティッシュペーパーを製造しております。

1日あたり約3,000～3,300トンの水を使用しておりますが、休転期間等は水が自噴しこの水は工場横の河川に流しています。

世界文化遺産「富士山」の恩恵を受けた水と、天然パルプ100%を使用し自社工場にて原紙を抄造・加工している弊社製品を改めて認知いただければと思い、今回の商標登録に至りました。



富士山の雪解け水と天然パルプ100%を使用した製品です。

ご発注時の手配について

弊社の既製商品につきましては印刷済みのパッケージが終了次第、順次裏面の表記を商品毎に切り替えています。

特注品に関しましては、表記を入れるかご指示を下さいますようお願いいたします。

富士山の湧水について

およそ900平方キロメートルもの表面積を持つ富士山に降る雨や雪は年間約25億トンに及び、これが地下水となり、地表に湧き出すまでの年数は平均で15年前後です。

富士山に降った雨や雪は時間をかけてゆっくりと地中に浸み込んでいきます。

地中に浸み込んだ水は伏流水となって不透水層(水を通さない層)である粘土や溶岩層の上を通って少しずつ流下していきます。

数ヶ月から数十年をかけて滝や池、湧き水、川となって地表に姿を現すほか、井戸などで汲み上げられて鱒の養殖や工業用水、農業用水などに使われています。

富士山全体の地下水の保有量を計算すると、約290億トンという豊富な水が富士山の地下には蓄えられています。(数字は国土交通省富士砂防事務所のホームページを参考にしています。)